The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 27 | Issue 3 | March 2024

今号では・・・

▶02...安全に関する重要なお知らせ
▶04...新校舎建設Update！
▶08...“For Tomorrow”—12年目を迎えて
▶12...JVディベートトーナメント
▶13...G6夢の島熱帯植物館への遠足
▶14...G7上野動物園への遠足
▶15-17...英語科Snapshot
▶17...G6 Visual Art アッサンブラージュ
▶18...G11 DP物理の校外学習
▶19...G12 JPX見学ツアー
▶22...KISTstreamの紹介
▶29...Math Field Day

> 似ているだけでは、決して世界に影響を与えることはできません。
> —Author unknown

学校長より

KISTコミュニティの皆様

春を迎えるにあたり、私たちの活気ある学校コミュニティーの最新情報とハイライトをお伝えできることを嬉しく思います。

まず第一に、3月19日が今年の正式な春の到来であることを皆さんにお知らせしたいと思います。春の訪れは、再生、成長、そしてこれからの暖かい日々への期待の時です。季節の移り変わりとともに、時間の経過を振り返ることになりますが、実際、今年度は驚くほど早く過ぎ去りました。

特に今年は、1月の新校舎への引っ越しというエキサイティングな出来事がありました。移転はスムーズで、生徒やスタッフが新しい校舎に慣れ、新しい施設を最大限に活用している姿を見るの毎日が楽しみです。新校舎は学習に適した環境を提供するだけでなく、当校の使命である卓越した教育へのコミットメントを象徴しています。

この春は私たち全員にとって忙しく充実した時となることでしょう。エレメンタリーでは、3月20日に行われる生徒主導面談（Student Led Conference）の準備を進めています。この面談は、生徒が自分たちの学習と成長を発表する素晴らしい機会であり、学業に意欲的な人材を育成するという当校の使命を反映したものです。

上記イベントの後、3月23日から31日まで春休みです。この期間は生徒とスタッフにとって十分な休息となり、安全で協力的な環境の中で、残りの学年度に向けてリフレッシュすることができます。

4月上旬には、国際バカロレア（IB）とインターナショナルスクール協議会（CIS）の合同再評価・再認定訪問というエキサイティングなイベントが予定されています。この1週間の視察では、9名のIBとCISの視察団を受け入れます。この訪問は、本校の卓越した学業と高水準へのコミットメントを紹介し、継続的な成長のための貴重なフィードバックを受けるチャンスです。

4月に入ると、10年生はIGCSE模擬試験の準備に取りかかり、最終試験に向けた貴重な練習とフィードバックを行います。同時に、ディプロマ・プログラム（DP）12年生も4月下旬からの試験に向けて準備を進めています。これらの試験は、長年の努力と献身の集大成であり、当校の使命の中核である、有能で学問的な人材を育成するものです。

次のページに続く

重 要 な 日 程

2024年3月

20 School day
20 (E) Student-led conferences (No classes)
20 (S) Quarter 3 PTS conferences (No classes)
20 (G8) IGCSE options session
23-31 Spring vacation

2024年4月

1 School resumes for all students
1-26 (G1-G5) English/Mathematics diagnostic testing
1-11 (G10) IGCSE mock examinations
5 (G1-G9) KIST cross country
7-13 IB re-evaluation/CIS re-accreditation visits
9 School photographs (for new and absent students)
11 (G9) PSAT
12 (K1/K2/K3) Cross country (*Morning)
15-19 (G5) G6 Extended foundation math 1st test
17 (G12) Last day of classes
18-23 (G12) DP study week (DP teachers available)
26-May 17 (G12) DP examinations
27 KPASS MS volleyball (B)
29 School day
29 (P0-K3) ECE concert (@KIST) (*Afternoon)

WE ARE A CIS ACCREDITED SCHOOL

前ページの続き

最後に、優秀な学業と高潔な人格の育成に対する皆様の変わらぬご支援とご尽力に、学校関係者の皆様に感謝の意を表したいと思います。ケイ・インターナショナルスクール東京の使命の礎である、国際社会に有意義な貢献をするという精神を体現しながら、私たちは共に困難を乗り越え、成果を祝ってきました。

皆様にとって、喜び、成長、そして新たな始まりに満ちた素晴らしい春の季節となりますように。

Warm regards,

Kevin Yoshihara Ed.D.
Head of School/Elementary School Principal

安全に関する重要なお知らせ

子どもの窒息事故を防ぐために

このニュースレターが皆様のお役に立つことを願っております。生徒の安全と健康は、私たちにとって最も重要なことです。最近、日本で起きた食事中のお子様の窒息事故を踏まえ、食事中のお子様の安全を確保するための重要なアドバイスをこの機会にお伝えしたいと思います。

保護者の皆様には、お子様のお弁当に入れる食べ物やスナック菓子の形や大きさにご配慮いただくことが重要です。口の中に長時間残るような、甘くて粘着性のある食べ物は避けることをお願いします。その代わりに、果物や野菜など、より健康的なものを選びましょう。プチトマト、ブドウ、リンゴ、チーズのようなものは丸ごとではなく、皮や種、硬い皮はあらかじめ取り除いておくことも大切です。

さらに、少しずつ、よく噛んで食べること、ゆっくり食べることの大切さを、ご家庭でお子様にお伝えください。このような習慣は、消化を促進するだけでなく、窒息事故のリスクを減らすことにもつながります。

当校のカフェテリアは、最近日本で起きた窒息事故について説明を受けており、スクールランチで提供する食べ物の大きさ、形、食感が生徒にとって安全であるよう、必要な措置を講じていることをお伝えし、皆様にご安心いただきたいと思います。当校のカフェテリアのスタッフは、安全な環境で栄養価の高い食事を提供することに専念しており、今後も生徒の健康を第一に考えていきます。

最後に、これらの安全対策をご家庭で実践し、お子様に徹底していただくよう、ご協力をお願いいたします。ご協力いただくことで、すべての生徒にとってより安全で健康的な食事環境を作ることができます。

皆様のご協力に感謝いたします。

Kevin Yoshihara Ed.D.
Head of School/Elementary School Principal

ニューフェース

前回の *The Comet* 発行後に、エレメンタリースクールGrade 1Aの教育サポートチームの学習サポートインストラクターとして、新しいスタッフ **Aprillia (April) Dewi** が加わりました。そしてオフィスチームにアドミニ・アシスタントとして **Maya Edwards** が加わりました。

学校コミュニティを代表し、**Ms. Dewi** と **Ms. Edwards**の新しい役割での成功を祈っています。

Aprillia (April) Dewi
Learning Support Instructor
(G1A)

Maya Edwards
Administrative Assistant
(Main Office)

PYPニュース

算数の基礎：初等教育における基本的な数字のスキルと掛け算九九の重要性について

教育の世界では、算数・数学は基礎科目として位置づけられており、基本的な数字のスキルと九九は、算数・数学の習熟度を築く基盤となります。小学生にとって、算数の基本的な概念を習得するということは、方程式を解いたり暗記したりするだけではなく、これからの学校生活とそれ以降の生活や学習の数学的な旅を支える強固な基盤の育成につながります。本号の*The Comet*では、基本的な数字のスキルと九九の重要性を掘り下げ、初等教育での重要性を探り、子供たちの数学力を育むために設計された2つの革新的なオンラインプログラム、**NumBots**と**TT Rockstars**を紹介します。

基本的な数字のスキルの重要性について

基本的な数字のスキルには、数同士の関係性への理解、位取り（桁の値）、ナンバーボンド、暗算など、さまざまな数学的能力が含まれます。これらは、より高度な算数・数学における概念や原理・法則の基盤として機能し、日常の問題解決と批判的思考力に不可欠なスキルとなっています。

位取り（桁の値）：
位取り（桁の値）は、算数・数学における基本的な概念であり、数体系全体を支えています。位取り（桁の値）を理解することで、子供たちは、数の位の重要性と、桁の数の表し方と数の概念との結びつきを理解できるようになります。例えば、数字の325を見てみましょう。一の位は5を表し、十の位は2を表し、百の位は3を表しています。

位取り（桁の値）を理解することにより、子供たちは数字をスムーズに操作し、足し算や引き算を簡単に行うことができ、算術演算をより深く理解できるようになります。

ナンバーボンド：
ナンバーボンドは、初期の数字スキルにおいて特に重要なものとなっています。ナンバーボンド（所定の合計を構成する数の関係）を理解することは、暗算の土台を作り、子供たちが数字を難なく使うための手助けになります。ナンバーボンドをマスターすることで、子供たちはより簡単に足し算や引き算を行うことができます。これは、日常生活だけではなく、より複雑な数学的問題解決においても不可欠なスキルです。

ナンバーボンドを理解することで、子供たちの暗算能力が向上し、迅速かつ効率的に計算できるようになります。また、掛け算、割り算、分数など、より高度な数学的概念の基礎も築きます。

掛け算九九の重要性について

九九は、算数・数学における土台の一つです。特に、学年が上がるにつれて、学習内容が高度になっていくため、非常に重要です。九九を暗記すると、計算の速度が向上するだけではなく、割り算、分数、代数学などの分野での問題解決もより簡単になります。

九九の答えを速く正確に出せる能力は、現代の速いペースで進む世界では特に価値があります。スーパーでのお買い物中に合計金額を計算する場合や、複数のステップを踏む必要のある文章問題を解く場合でも、九九がしっかりと身についていると、子供たちは効率的かつ自信をもって算数・数学に関連する問題に取り組むことができます。

さらに、九九をマスターすると、比率や割合といったより高度な内容や、代数的思考の基礎をしっかり築くことができます。九九の答えを暗記することで、子供たちは数学的関係をより深く理解し、知識を応用してさまざまな領域にわたる幅広い問題を解決できるようになります。

NumBotsとTT Rockstarsの紹介

教育者や開発者は、初等教育における基本的な数字のスキルと九九の重要性を認識し、子供たちの算数・数学学習をサポートする革新的なオンラインプログラムを作成しました。その中でも代表的な例として挙げられるのが、NumBotsとTT Rockstarsです。この2つのプログラムは、楽しく魅力的な、インタラクティブな方法で、重要な算数・数学スキルを育成および強化するプラットフォームを提供しています。

KISTでは、学年度の始めにNumBotsとTT Rockstarsを導入して以来、多くの生徒が熱心に取り組んでいます。担任の先生たちは、これらのオンラインプログラムに関連する宿題を出すこともあれば、特定の日には他の優先される種類の宿題も出すこともあることをご留意いただければと思いますが、可能な限りこれらのオンラインプログラムのために時間を作り、子供と一緒に取り組むことを強くお勧めします。

NumBots:
NumBotsは、インタラクティブなゲームやアクティビティを通じて子供たちが重要な数学スキルを身につけるのに役立つよう設計されたオンラインプログラムです。NumBotsは、ナンバーボンド、足し算、引き算、暗算に重点を置き、子供たちが算数の問題に夢中になれる学習プログラムを提供しています。

NumBotsのアダプティブラーニング（適応学習）システムは、子供1人ひとりの学習の進捗状況に基づいてアクティビティの難易度を調整し、レベルに合った挑戦問題を提供し、個々の学習をサポートします。個別のフィードバック等を通じて、子供たちが基本的な数字のスキルに自信を持ち、習熟度を高めていくのに役立ちます。

次のページに続く

前ページの続き

TT Rockstars:
TT Rockstarsは、ロック音楽の熱気を算数・数学の練習問題に取り入れることで九九を学ぶ、ユニークな学習方法を提供しています。TT Rockstarsでは、子供たちはロックスターのアバターになりきり、時間制限のある掛け算チャレンジでクラスメイトと競い合います。

このゲーム型学習は、九九を楽しく学ぶだけではなく、もっと向上したいという意欲の原動力となり、主体的な学習につながります。チャレンジに参加して報酬を獲得することで、子供たちは計算能力に対する達成感やモチベーションを育んでいくのです。

結論として、基本的な数字のスキルと九九は、初等教育において非常に重要な役割を果たします。これらの基礎スキルの習得は、算数・数学スキルの流暢性、問題解決能力、そして批判的思考力の育成に不可欠です。NumBotsやTT Rockstarsといったオンラインプログラムは、子供たちの算数・数学学習をサポートする貴重なリソースを提供すると共に、楽しく夢中になりながら数字のスキルや九九を練習できるインタラクティブなプラットフォームも提供しています。

KISTでは、これらのオンラインプログラムをカリキュラムに組み込んでいます。私たちは、子供たちの学習過程を支える上で、保護者が非常に重要な役割を担っていると理解しています。そのため、これらのプログラムを、ご家庭で子供と一緒に取り組むことをお勧めします。進捗状況を確認したり、励ましたり、一緒に課題に取り組んだりと、どういった形でもかまいません。保護者にも参加して頂くことで、子供たちの学習体験がより良いものとなり、学校で学んでいる知識をより確実に定着させ、強化することができます。

Oliver Sullivan
PYP Coordinator

新校舎建設Update!

竣工からもう3か月が経ちました！　暖かくて快適な体育館、充実した素晴らしいラボ、読書や自主学習に適した静かで広々とした図書室、『まるでホテルのトイレのようだ！』とのコメントの生徒用トイレなど、生徒も先生も誰もがこの新しい学習環境をとても喜んでいます。そして新しくできた生徒用ラウンジでは現在G11、G12がリラックスしたランチ時間を過ごしています。

この度、新校舎に対し保護者の皆さまからご寄附やご協力をいただきましたのでご報告いたします。

先日1階の生徒用ラウンジに彩りを加える素敵なバンクシーのリトグラフを2枚、G1 Toda familyからご寄附いただきました。保護者の皆さん、ぜひK. Shopで美味しいカフェラテを購入されて、生徒ラウンジにお立ち寄りください。

新校舎4階には教室2個分の、2階には教室4個分の広い多目的室があります。DPやIGCSEの（模擬）試験や各種説明会、アドバイザリーや体育の授業、放課後の活動等で使用する他、各種イベントにも利用されます。先日1月31日には多くの生徒が再開待ち望んでいたJapanese New Year Celebration が3年ぶりに開催されました。2階多目的室でK1～K3はお相撲さんへのお相撲チャレンジ、G1～G5はお相撲の決り手のデモンストレーションを見せていただきました。1階のアスファルトエリアではお相撲さんと一緒にお餅つきをし、生徒用ラウンジでは全校生徒が搗きたてのお餅を沢山食べて日本文化をお祝いしました。当日のお餅加工や前日の準備に来てくださった保護者ボランティアの皆さま、美味しいお餅（あんこ、きなこ、のり）の用意ありがとうございました。

そして、初場所が終わったばかりでお疲れのところに、お部屋をあげてイベントをサポートしてくださいました武蔵川部屋の皆さま、ありがとうございました。寒い中たくさんのお餅を搗いてくださり大変だったと思います。一緒にお餅を搗くことができた生徒は大喜びしていました。朝早くからこのイベントのために準備してくだいました武蔵丸親方、女将さん、力士の皆さんに心より感謝いたします。
G4 Musashimaru family ありがとうございました！

学校内には普段は皆さんが目にすることのない場所も数か所あります。新校舎6階の防災用品倉庫もその一つです。防災用品は一定期間毎に入れ替えておりますが、今回その防災用品の大幅な入れ替えに際し、保護者からご寄付のお申し出をいただきました。800人分用の3日分の非常用飲料水および食料の入れ替えを、セカンダリースクールのご家族からサポートしていただきました。ありがとうございました。

新校舎建設プロジェクトは、旧校舎の解体が始まり、10月に向けての新校庭整備に着手しました。17年間お世話になった校舎が解体されて行く姿には寂しさを感じますが、新しく大きくなる校庭をとても楽しみにしています。

Sayoko Naito
Director of Operations

幼児教育ニュース

KIST Familiesの皆さんこんにちは。

皆さん、お元気にお過ごしでしたでしょうか？3月に入り、春らしい陽気が多くなりました、もうすぐ年度末ですね。K1からK3クラスの子ども達、みんなたくさん成長しましたね。保護者の皆さんも私たち同様、子ども達の成長をとても誇らしく思っていることと思います。

この一年、子ども達は、Jolly English、Jolly Phonicsそして、Jolly Grammarを使用しながらLiteracyの授業をしてきました。

K1クラスはJolly Englishを通して、英語で使われるたくさんの音にふれたり、指先の器用さを発達させるためにテキストを使ったりしています。K1クラスのお友達の音に関するレッスンは、/ar/という音を学ぶのに、校内にて、みんなで車に乗って、キャンプへ行き、バーベキューをしながらハンバーガーを食べて、/ue/と/er/の音を習い、そして、4階にあるサイエンスの教材室へ行き、/ar/の音の為に、暗がりで星を眺めるという活動をしました。

K2では、3冊の教材Jolly Phonics 1、2と3を使用します。この3冊を通して子ども達は英語の中に出てくる42の音を学び、72個のtricky wordsと同音異綴りを学びます。K2クラスが終わるころには、子ども達はフォニックスを使って解読ができる文章を読んだり、何人かは大文字、スペース、ピリオドを使用してきちんと文章を書いたりすることができるようになります。ここでとても大切なことは、子ども達が自信を持って読む事ができるよう、彼らのレベルにあったものをきちんと準備できることです。

K3ではJolly Grammarを使っています。Jolly GrammarではK2クラスで習った、Jolly Phonicsの内容を復習します。英語の中に出てくる音と文字の関係、ひっかけ単語に同音異綴りは幼児にとっては簡単に習得できるものではありません。それに加え、K3では品詞を習うことで、文章をより深く理解し、文章を読んだり書いたりしていきます。英語を学んでいく中で、短母音、長母音を理解し、気が付いていくこともともて大切なことです。K3クラスで、母音に関しても繰り返し学んでいきます。

ここに、各学年からのLiteracyの作品を記載しました。とてもよく書けていますよね！

最後に、今年度から使い始めたLiteracyのアプリ、epicとReading Eggsはご家庭でお子さんのLiteracyのサポートのサポートプログラムとして、役立っていますでしょうか？もしも、子ども達が読んでいる本が、解読ができないものである場合や、子ども達のレベルに合っていない場合は、子ども達が自信を無くしてしまいますので、読む事を強要しないでください。

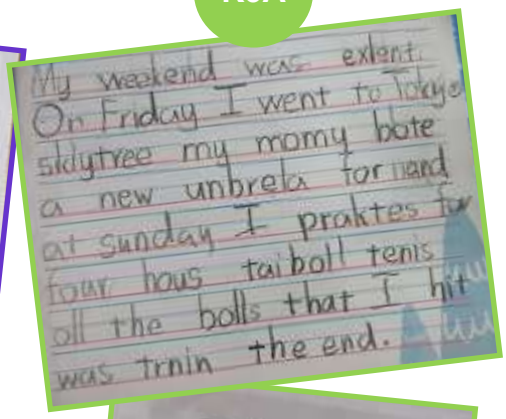
皆さん、読書を楽しんでくださいね。

Eri Ozawa
Early Childhood Coordinator (K1–K3)/
K2A Teacher

K1A

K2A

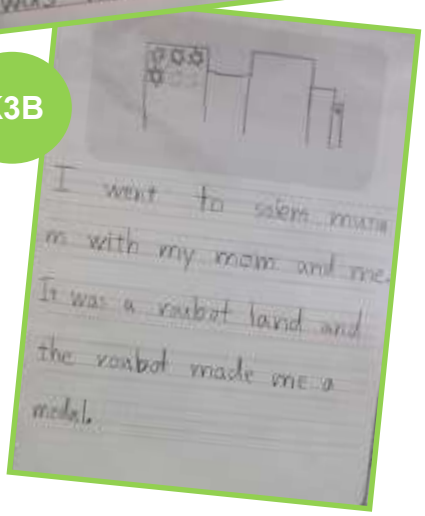
K3A



K1B

K2B

K3B



サステナブルな未来のために今できること

近年、四季の移り変わりが遅くなっていると感じることはないでしょうか？これは単なる想像ではありません。世界中の気候科学者がこの現象について研究し、報告書をとりまとめています。地球の繊細な均衡が乱されつつある今、我々には行動する責任があります。季節の変化が遅くなっている原因を考え、この地球の環境を保護し、回復させるため我々がどのように貢献できるか考えてみましょう。

季節の変化を理解しよう

地球の気候は、人間の活動に伴う二酸化炭素やメタン等の温室効果ガスの排出により、前例のない変化を経験しています。これらのガスは大気中で熱を閉じ込めるため、地球全体の気温が徐々に上昇する原因となります。その結果、季節の自然なリズムが乱れ、四季の移り変わりが過去と比べ遅くなってきているのです。

特に温暖な気温など、特定の気象パターンが、秋や春とされていた季節にも長引くといった影響を及ぼしています。この変化は、生態系、野生動物、農業、そして我々の健康と幸福に対して広範な影響を及ぼす可能性があります。この問題に対処するためには、炭素排出量を減らし、環境保護を促進するサステナブルな取り組みを実践していく必要があります。

どう貢献できるだろうか？7つの簡単な方法！

1. **再利用とリサイクル**
   三つのRをご存知ですか？Reduce（削減）、Reuse（再利用）、Recycle（リサイクル）！使う物を減らし、できる限り再利用し、リサイクルをして、地球を助けましょう。廃棄物を減らし、環境を保護できるとてもシンプルな方法です。
2. **太陽光・風力発電**
   太陽と風からのエネルギーを利用して地球を助けましょう。クリーンエネルギーをコミュニティ全体で支援し、LEDのような省エネ性能の高い物を使用し、照明や電化製品など使わない場合はこまめにスイッチを切りましょう。
3. **環境にやさしい交通手段を選ぼう**
   単独で乗用車を利用するのはあまり環境に良くありません。バスを利用する、友達とカーシェアをする、自転車に乗る、歩くなどの試みをしてみましょう。そして、EV車という大気を汚さない、環境に優しいクールな車もありますよ！
4. **自然を守ろう**
   ボランティア活動を通して泥だらけになりましょう！植樹イベントや公園の清掃ボランティア等に参加することが、野生動物の保護に繋がります。こういった活動を通して、地球環境のバランスと健康に貢献することができます。
5. **学び、そして共有しよう**
   気候変動について知識をつけることは、あなたの力になります！好奇心を持ち続け、地球について学び、友人たちに発見や学びを伝えましょう。みんなに、地球を助ける賢い選択をするよう呼びかけましょう。
6. **地球にやさしい食事を摂ろう**
   環境に優しい農業を行っている農家を支援しましょう。地元産の旬な果物や野菜を選ぶことも大切です。そして、家庭から出る生ごみは栄養豊富な堆肥に変えられることを忘れずに！
7. **資源を再利用し、循環させよう**
   再利用できるものを選んだり、アップサイクルすることを選び、地球にとってのヒーローになりましょう！企業にも同じことを促進しましょう！これは物に第二のチャンスを与えるようなものです。

みんなで協力し合い、地球をより良い場所にしていきましょう。小さな行動の積み重ねが、やがて大きな変化を生むのです。

四季の長さが変わってきているという事実は、気候変動に対して今すぐ行動を取らねばならないという我々への警鐘でもあります。我々の日常生活の中にサステナブルな習慣を取り入れることで、今、そして未来の世代のために地球環境を守ることに貢献できます。この挑戦的な現実を受け入れ、賢明な選択をし、共に協力し、よりサステナブルで強靭な世界を築いていきましょう。

同じ目標に向かって一丸となった時、我々は変化を生み出す力を持つのです。

Clay M. Bradley
Elementary School Vice Principal/Student Care Coordinator

KIPSニュース

From the P0/P1

半年以上が経過した今、P0とP1の子供たちがこの数か月の間でどのように成長し、発達してきたか分かるようになってきました。0歳児と1歳児は早くも、音楽や食育などのグループ学習に参加しています。

音楽の時間では、スカーフや楽器を使いながら、音楽に合わせて全身を動かしています。また、ビートやピッチ等、授業のテーマに関連する楽器を自由に探索できる「楽器の時間」もあります。

P0とP1の子供たちは、P2と一緒に食育の時間に参加し、食材に関するお話しを聞いたり、食材が時間の経過と共にどう変化していくのかを写真で見たり、五感を使って色々な食材に触れたりしています。1月と2月の食育のテーマ食材は「ほうれん草」と「ブロッコリー」でした。子供たちは、新鮮なほうれん草を味わったり、大きな葉っぱがついたブロッコリーを手に取ったりすることができました。また、生野菜と茹でた野菜を比べたりもし、子供たちの好奇心が刺激されたかと思います。

例えば緑色の野菜を食べる等、子供たちは、お友達や先生の行動を見て新しいことに挑戦するようになるのですが、私はこれを非常に興味深いと感じています。実際、子供たちは周囲の人や物を真似たり観察したりしながら、色々なことを吸収し、学んでいきます。

Ma. Cielito Bautista
P0/P1 Teacher

From the P2 classroom...

例年よりも夏が長く、暖かい気候が1月になっても続いていたため、2月初旬に大雪が降ったのには驚かされました。授業でも、冬の季節に関するレッスンをしていたのですが、雪、雪だるま、美しい雪景色などを、雪の降った2月のあの日まで、子供たちは実際に目にしたことがありませんでした。空から雪が降るのを見た瞬間、まるでそれが合図だったかのように子供たちは "Snowflakes, snowflakes, little snowflakes…" と声高らかに歌い始めました。初めて見る雪にみんな大喜びで、その喜びに満ち溢れた笑顔はプライスレスでした。

Scienceの授業では、冬の動物たちがどうやって寒さに適応しているのかを学んでいました。今ではもう子供たちは、冬になると動物たちが脂肪を蓄えること、毛が白くなること、冬眠をすることを、すっかり理解しています。そして子供たちは、雪の降ったあの日まで実際に雪を見たことがなかったので、コーンスターチと重曹を使い「雪」を作る実験をしました。「雪」を素手で触ることができて子供たちは大喜びでした。Artの授業では、プラスチックコップを使ったスノードームを作ったり、綿棒を使って雪の結晶を作ったり、冬眠した熊のクラフトを作ったりしました。しかし、今回の一番のハイライトは、P2全員でペイントして飾り付けをした冬のジオラマです。Scienceの授業で作った「雪」を使って、ジオラマの地面全体を覆いました。

大人になると、雪の日はそんなに楽しいものではなくなってしまいます。しかし、子どもたちにとっては特別です。なので私は、雪が積もった次の日、P2の子供たちに教室で自作の「雪」と冬のジオラマで遊ばせました。終わったころには床はぐちゃぐちゃになっていましたが、子供たちがたくさん笑い、喜び、そして楽しく学んでくれたので本当に良かったです！

さらに、教科・探求学習だけではなく、クラス内での子供たちのソーシャルスキルが前学期よりも格段に上がっているのがわかります。お友達同士の喧嘩はまだありますが、子供たちはお互い「ごめんね」と謝ったり、自分の順番を待てるようにもなりました。加えて、英語でのコミュニケーションスキルもかなり向上しました。自分の気持ちや考えを、英語で先生に伝えられるようになってきています。そんな子供たちの姿に、KIPSのスタッフは言葉に出来ない喜びを感じています。

Anna Sophia Valencia
P2 Teacher

"For Tomorrow"—12年目を迎えて

2012年6月、毎年恒例の学年末コンサートで、校歌「For Tomorrow」が初めて学校コミュニティに披露されました。近年は、コロナウィルスの流行や新校舎建設のため、生演奏や歌を楽しむ機会が激減していました。そこで、2024年にこの曲が12周年を迎えることを記念して、再びこの曲を学校関係者に紹介したいと思います。

「For Tomorrow」は、日本の著名な音楽家であり作詞家でもある布袋寅泰氏が本校のために特別に作曲した、歌いやすく耳に残るメロディーが特徴です。一般的な校歌の多くは、学校のプライドを高めたり、学校の良さを誇示したりすることに重点が置かれがちですが、「For Tomorrow」は、本校の生徒たちがどのような人間になってほしいかを表現する、より意味のあるものを作ろうと考え、作られました。

このコンセプトのエッセンスを取り入れるため、私たちが考えた歌詞には、私たちの使命とビジョンを反映させ、「明日を切り開くのは私たち自身であることを決して忘れてはならない」というメッセージを込めました。私たちが周りの人たちに支えられているように、私たちもまた他の人たちを助けなければなりません。他者を支え、周囲の人々の明るい未来を築くことに何らかの形で貢献することができれば、自分の人生に誇りを持つことができると考えたのです。

現在進行中の世界の混乱状態を改善するためには、責任感があり、才能があり、思いやりのある人材が必要です。KISTでは、高い道徳心を持ち、有能で学問のある若者を育成し、相互協力を通して、自分自身や現在の世代だけでなく、将来の世代のためにも、より良い世界を築こうと努力し、社会に貢献できる人材に育ってほしいと願っています。これが「For Tomorrow」のコンセプトです。私たちは、この歌が学校コミュニティーのすべての人々にとってインスピレーションの源となり、末永く愛されることを願っています。

「For Tomorrow」は、以下のリンクからお聴きいただけます。

Web https://www.kist.ed.jp/ja/node/616

Craig Larsen
Director of Admissions and Personnel
("For Tomorrow"の英詞作成者)

For Tomorrow

[Karaoke version]

Never forget that all through time
We make the future together
Side by side, hand in hand
Building a better world for tomorrow

We are all sharing the earth
We're not alone
Neighbors and friends helping us learn
All through our lives

Any time you see someone who is in need
Just stop and think what help you can give
Just trust in yourself, believe in yourself
And you can change the world

For everyone

どんなときも　わすれないで (Donna toki-mo wasurenai-de)
未来は皆で　作ってくよ (Mirai-wa minna-de tsukutteku-yo)
輝く未来　築くために (Kagayaku mirai kizuku tame-ni)
明日に向かい　歩こうよ (Ashita-ni mukai aruko-yo)

人や自然に　ささえられ (Hito-ya shizen-ni sasaerare)
私たちは　生きてる (Watashitachi-wa ikiteru)

いつの日か　誰かのために (Itsu-no hi-ka dareka-no tame-ni)
何かができるかな (Nanika-ga dekiru-kana)
誇りをもち　生きてくために (Hokori-o mochi ikiteku tame-ni)
さあ未来へ (Saa mirai-e)

For everyone

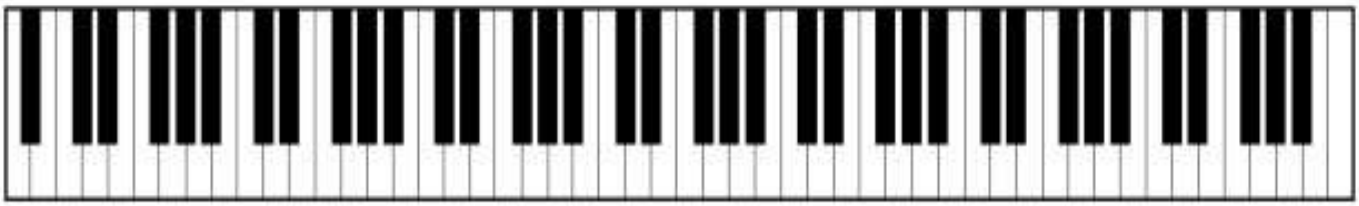
La la la la la…

We are all sharing the earth
We're not alone
Neighbors and friends helping us learn
All through our lives

Any time you see someone who is in need
Just stop and think what help you can give
Just trust in yourself, believe in yourself
And you can change the world

いつの日か　誰かのために (Itsu-no hi-ka dareka-no tame-ni)
何かができるかな (Nanika-ga dekiru-kana)
誇りをもち　生きてくために (Hokori-o mochi ikiteku tame-ni)
さあ未来へ (Saa mirai-e)

For everyone



すごろく制作

「明けましておめでとうございます」のあいさつで始まったセカンダリーの日本語クラス。新校舎で始まった日本語クラスの一番最初の週は、「すごろく」作りでした。

毎年、新年の日本語クラスは、生徒たちが日本の文化に触れられる機会を提供できる授業を行っています。去年度は習字の体験授業をするなどしてきました。本年度は、日本の正月遊びの一つ「すごろく」遊びを通したレッスンを行いました。日本のすごろくは「Monopoly」というボードゲームによく似ていて、すごろくを知らない生徒たちにも受け入れやすいゲームだったようです。

最初から用意されたゲームで遊ぶより、生徒たち自ら作った自作の「すごろく」で遊んだ方がより楽しさも増すと考え、テーマとルールを決めてすごろく制作をしました。

テーマは「初詣」です。初詣は新年の最初に神社やお寺に行って参拝する日本の伝統的な行事の一つです。生徒たちに「スタート地点」を自宅にしてもらい「ゴール」を「お寺」または「神社」に設定してもらい制作に取り掛かりました。また、数マスずつに指示を考えて入れることで、このマスに止まった人はその指示されたことをしなければなりませんというルールも加えました。生徒たちは、初詣に関連する指示を入れるなど試行錯誤しながら各グループに分かれてすごろくを制作していました。指示の内容はさまざまなものがありました。例えば、「おさい銭を忘れたから家に戻る」や「先生にお年玉をお願いする」など正月に関連したものが多くありました。

同じすごろくゲームをずっと遊ぶのではなく、メンバーを入れ替えたり、他のグループとすごろくを交換して遊んだりとクラス全体で楽しめたと思います。同時に日本の伝統行事にも絡めて文化体験としても学習になったのではないかと思います。セメスター2も頑張って学習していきたいですね。

Yuuki Tanabe
Secondary Japanese Teacher (G6–G10)

ミドルスクールBrain Bowl 2024

舞台は整い、質問は飛び交い、KISTのBrain Bowlの生徒たちは、毎年恒例の2024年ミドルスクールBrain Bowlでの優勝に向けて準備万端でした！トリビアに最も強い生徒6名、**Ashlesha**（G6B）、**Touma**（G6B）、**Taiga**（G6B）、**Aakarsh**（G6B）、**Hema**（G6C）そして**Luca**（**Lujia**）（G7A）が、2月7日（水）に東京インターナショナルスクールへ向かい、知識に満ち溢れた頭脳と鋼のメンタルを武器にこの挑戦に挑みました。

私たちの生徒たちは、他の7つのKPASS学校の混合チームと対戦し、KISTの生徒が過小評価されてはならないことを証明しました。歴史の難問から科学の脳トレまで、生徒たちはKISTの誇りとなるような熱意を持って各問題に取り組みました。

Luca

英語、時事問題、地理、数学、歴史、芸術と音楽、日本、科学、スポーツ、一般知識のトピックを含む複数ラウンドの後、イベントは終了し、KISTの生徒が優勝チームの一員となりました！2024年のMS Brain Bowlでチームが総合優勝した**Luca**さん、おめでとうございます。

MS Brain Bowlスターの皆さん、お疲れ様でした。

Jamee-Grace Rose
Brain Bowl Supervisor

KPASSインストルメンタルフェスティバル

KISTセカンダリーの生徒4名が、2024年2月24日土曜日に、ブリティッシュスクール・イン・東京で開催されたKPASSインストゥルメンタルソロ・アンサンブルフェスティバルに本校を代表して参加しました。

- **Jessica** (G10A)—フルート
- **Sungbeen** (G11B)—バイオリン
- **Zia** (G10B)—バイオリン
- **Jiani** (G10B)—ピアノ

生徒たちは素晴らしい演奏をし、最高得点を獲得し、審査員から称賛され、表彰されました。

Robert Collins
Secondary Music Teacher

IGCSEニュース

Outstanding Pearson School Awards

前号の*The Comet*の発行以来、直近のIGCSEクラス（現G11と、現G10数学Bの生徒1名）の優秀な成績についてエキサイティングなニュースが届きました。Outstanding Pearson School Awardsが発表され、KISTはHighest Mark in the World賞を1つ、Highest Mark in Asia賞を1つ、Highest Mark in Japan賞を8つ受賞しました。大変誇らしいことに、KISTの生徒はピアソンが提供するすべてのサイエンスコースで日本での最高得点を獲得しました。以下生徒の皆さんおめでとうございます。

Fumie（G11A）:

★日本最高得点: English Literature
日本最高得点: English Language A
日本最高得点: Biology
日本最高得点: Chemistry
日本最高得点: Physics
日本最高得点: Geography

Yi Ming（G11B）:

アジア最高得点: Further Pure Mathematics

Sungbeen（G11B）:

日本最高得点: Science (Double Award)

Pramiti（G11A）:

日本最高得点: Business

Mamiko（G10A）:

日本最高得点: Mathematics B

今学年度の生徒たちも、現在IGCSEの最終試験に向けて準備中です。G10の生徒とG9の数学Bの生徒は4月1日から11日まで模擬試験を受け、IGCSEの最終試験は5月10日から6月14日まで行われます。試験を間近に控え、試験準備のヒントについて、次のセクションをお子様と一緒にお読みになることをお勧めします。

次のページに続く

前ページの続き

IGCSEでの効果的な学習習慣について

IGCSEに入学することは、生徒にとって、より厳格で難しいアカデミックなカリキュラムに移行するための重要なステップです。IGCSEで成功するためには、効果的な学習習慣を身につけることが不可欠です。ここでは、IGCSEの生徒が成功するための学習習慣を身につけるためのヒントをいくつか紹介します。

1 学習スケジュールを立てる

学生にとって最も重要なことの1つは、学習スケジュールを立てることです。これは、時間を効果的に管理し、必要なトピックをすべてカバーしていることを確認し、土壇場で詰め込むことを最小限に抑えるのに役立ちます。各科目に特定の時間を割り当て、休憩やリラックスのための十分な時間を確保する必要があります。また、他の仕事や課外活動を考慮し、現実的で達成可能な学習スケジュールを立てることが重要である。

2 学習環境を整える

学生が勉強する環境は、学習にとって不可欠です。静かで、気が散ることがなく、快適であるべきです。明るい空間、座り心地の良い椅子、机やテーブルがあることが重要です。テレビの前や人通りの多い場所など、気が散りやすい場所で勉強するのは避けましょう。理想的には、勉強するときだけ使う専用の場所を作ることです。

3 メモを取り、情報を整理する

IGCSEで成功するためには、効果的にノートを取ることと情報の整理が不可欠です。生徒は、授業中に詳細なノートを取り、定期的に見直す必要がります。ノートやその他の学習資料は、科目別やトピック別など、自分にとって意味のある方法で整理する必要があります。図や表、その他の視覚的な補助を使用することも効果的です。

4 アクティブラーニングを実践する

アクティブラーニングは、受動的なリスニングやリーディングよりも、より魅力的で効果的な学習方法です。生徒は、質問をしたり、議論に参加したり、問題解決の練習をしたりすることで、アクティブラーニングに取り組む必要があります。また、異なる科目やトピックを関連付けることで、学習効果を高めることができます。

5 必要なときに助けを求める

必要なときに助けを求めることは、学生にとって不可欠なことです。これには、教師に説明や追加のリソースを求めるだけでなく、チューターや学習グループと協力することも含まれます。助けを求めることは恥ずかしいことではありませんし、必要なときにサポートを求めることは、強さと献身の証です。

6 セルフケアを優先する

最後に、学生は自己管理を優先することが重要です。十分な睡眠、健康的な食事、適度な運動などが含まれます。また、休憩をとってリラックスすることも、ストレスを軽減し、集中力を維持するために必要です。勉強のために心身の健康を犠牲にすることは、結果的に逆効果になる可能性があります。

結論として、効果的な学習習慣を身につけることは、IGCSEで成功するために不可欠です。学習スケジュールの作成、適切な学習環境の確保、ノートの取り方と情報の整理、アクティブラーニングの実践、必要に応じて助けを求めること、そして自己管理を優先することで、学生は成功への道筋をつけることができるようになります。献身的な努力と正しい学習習慣があれば、学生は学業上の目標を達成し、IGCSEで優秀な成績を収めることができます。

Keith Erickson
IGCSE Coordinator

ジュニアバーシティ ディベートトーナメント

2023年9月、Ms. McKenzieとMs. Clarksonが率いる高校生グループが、これから待ち受ける厳しいディベートシーズンに向けて準備を始めました。私たちのほとんどが入部したてで、初めて知るルールや情報に圧倒されてしまっていた為、先輩メンバーと先生方が貴重な時間を費やし、ディベートに関するヒントや基本的な内容をまとめてくださり、12月に行われた最初の練習試合まで毎週私たちをサポートしてくれました。先輩方や先生方の指導のおかげで、2023–24年度のディベートシーズンはとても順調に進み、複数の生徒がディベートに勝利し、一部の生徒は賞を受賞することができました！

2024年1月、決勝トーナメント前、ディベートチームは毎週St. Mary's International Schoolに行き、練習ディベートに参加しました。事前準備型ディベートの場合、練習ディベートの1週間前にはテーマが伝えられます。しかし、即興型ディベートの場合、当日にテーマが知らされ、わずか1時間で準備をしなければなりません。どちらにしても、私たちにとってはストレスフルで、いつも半蔵門線の車内で神経をすり減らしながら、まるで命がかかっているかのようにキューカードを握り締めていました。

非常に緊張していましたが、モーション（論題）に対する肯定側立論を求められた瞬間、覚悟が決まりました。私たちの口からは言葉が溢れ出し、熱烈に場の空気を支配し、私たち一人一人を注意深く審査する審査員に訴えかけました。その時の私たちは、まるで別人のようでした。普通のKISTの生徒ではなく、それ以上の存在だったと思います。各練習ラウンドの後、結果に関係なく、私たちは充足感に包まれながら、それぞれ帰路につきました。

練習ディベート期間はあっという間に過ぎ、待ちに待ったSeisen International Schoolでのトーナメント当日を迎えました。**Joanne**、**Kanade**、**Ankita**で構成される私たちJV3（ジュニアバーシティ）チームは、KISTを代表する他のJVチームと共に出場しました。今回のモーション（論題）は、「当下院（This House）は、中等教育における人工知能（AI）の活用の導入増加は、デメリットよりメリットをもたらすと考える」でした。私たちJVチームは、忙しい学校生活の中でもしっかりと時間を作り、スピーチ原稿を完成させました。みんなで協力し、アイディアを共有し、どうやったら自分の主張を、強力かつ明確に述べることができるか、教科担任と相談しました。トーナメントに向けて準備をしていく中で、私たちは柔軟な思考を身につけることができたと思います。自分の殻を打ち破り、説得力のある表現法を身につけることもできました。

他のメンバーもそうですが、特にディベートチームに入部したてで、ディベート経験の無い私たちG9は、トーナメントがどのように展開していくのか予想がつかず、非常に不安を感じていたと思います。トーナメント当日、私たちはキューカードやメモを準備し、スピーチの原稿の最終確認をしました。休み時間には、仲間たちにスピーチを聞いてもらい、内容についてフィードバックをもらったり、プレゼンテーションを手伝ってもらったりしました。また、実際トーナメントで出てくる可能性のあるPOI（Points of Information／質疑応答）の事前準備になるような、とても良い質問をしてくれる仲間たちもいました。

そしていよいよ、トーナメント開始！ディベータ全員が、興奮状態であるとともに、不安を感じていました。ディベートが行われた部屋は緊張感に満ち、重苦しい雰囲気が漂っていましたが、いざスピーチが始まると、自信と熱気に満ち溢れました。トーナメント終了後は、ディベータ全員が安堵と充実感に包まれ、今シーズンの素敵な思い出を楽しく振り返ることができました。

準備や共同作業に費やした膨大な時間、神経をすり減らしながら乗った電車、スピーチ前の緊張感・・・この数か月間のすべてが思い出に残るものばかりでした。私たちにとって、ディベートシーズンはほろ苦い経験でもありましたが、私たちは来年に向けて、この思い出を大切にしていきます。

Ankita（G9A）、**Joanne**（G9A）と**Kanade**（G9B）

G6夢の島熱帯植物館への遠足

2024年1月31日（水）、Grade 6全3クラスが夢の島熱帯植物館を訪問しました。

公共交通機関での移動後、Grade 6は夢の島熱帯植物館の大温室に到着しました。大温室には3つのドームがあり、それぞれ異なる生息地の植物が植えられています。各ドームの滞在時間は20分で、クラスごとに分かれて、葉・茎・花に特徴的な適応力を持つ植物を探しに行きました。興味深くて多様な適応力を持つ植物を見つける、まるで宝探しのようなアクティビティとなりました。

暑さと湿気にもかかわらず、生徒たちは大温室をくまなく探索し、エレガントな蘭の花や実を結ぶカカオやスターフルーツ、そびえたつ竹やタビビトノキなどを発見しました。

キャンパスへ戻る時間になる頃には、生徒全員、植物図を描き終え、植物のさまざまな適応力に対して素晴らしい観察力を発揮していました。

Jarod Elson、Marta Alba、Jamee-Grace Rose
Secondary Science Teachers

「プロジェクト：Peace of Mind（心の平穏の関するアドバイザリー）

私たちの名前は**Alex**と**Elina**で、新しく設立されたサービスグループ「プロジェクト：Peace of Mind（心の平穏）」のリーダーです。

ある雪の降る日、私たちは、PYP Exhibitionの中でG5の生徒たちとコンフリクト・リゾリューション（対立解消/紛争解決）について話す機会を得ました。私たちはかつてG5の生徒であり（そして、実際にExhibitionを対面式で開催した最も前のグループ）、同じ少数の人々と長期間、効果的に働くことの難しさや、それが数多くの生徒、教師、スタッフの前での最終パフォーマンスにどのような影響を及ぼすかを理解しています。

短くも実りあるセッションの中で、私たちはの残りの期間に生じる可能性のある対立のシナリオについて話し合い、対立が発生する根本的な理由とそれを防ぐ方法について話し合い、熟考しました。

私たちは、G5の生徒たちがExhibitionを通じて素晴らしい経験をできたことを願っています。そして、みんなが残りの数か月間、対立のないエレメンタリースクール生活を過ごせることを祈っています。

Alexandra（G10B）と**Elina**（G10A）

上野動物園へのG7クラス遠足

G7はScienceとI&Sの授業の一環で、2月に上野動物園へ遠足に行きました。生徒は小規模グループに分かれてさまざまなエリアに行き、写真を撮ったり質問に答えたりするスカベンジャーハントに参加しました。

この遠足は、G7のScienceとI&Sの両科目で学ぶEcologyのユニットの一環として実施されました。生徒たちは、異なるバイオーム（生物群系）での動物の適応や、異なる生息地における生物多様性への脅威など、授業で学んだことを実際に見ることができました。

生徒たちは、南アメリカの熱帯雨林に生息するゴリラやトラ、アフリカのサバンナに生息するサイやキリン、そして中国中部の山岳地帯に生息するジャイアントパンダなどを見ることもできました。

雨が降る寒い一日ではありましたが、生徒たちは、自然界の美しさと、人間の活動が生物多様性に及ぼす影響について学べる素晴らしい時間を過ごせました。

Marta Alba と **Hanad Mahamed**
LSP Science Teachers
Anna Holdaway と **Aika Nukariya**
LSP I&S Teachers

オオワシの前でポーズをとるG7A

（左>右）フラミンゴを見ているXiaoye（G7A）、Ishan（G7B）、Jun（G7A）とKaitlyn（G7B）

（左>右）ペンギンを見ているYuki（G7A）、Harsh（G7B）、Andrew（G7A）、Ann（G7A）とYun（G7A）

（左>右）プレーリードッグを見ているKeya（G7A）とAkshita（G7A）

（左>右）お土産に買ったカワウソのぬいぐるみを見せるRyan（G7B）とYuki（G7A）

オオワシの前でポーズをとるG7B

英語科Snapshot

シェイクスピアやチャールズ・ディケンズからマーガレット・アトウッドやナワル・エル・サーダウィまで、様々なテキストを学びました。私たちが何をしてきたかを知っていただくために、英語科のスナップショットをお送りします！

生徒にとってEnglishとは？

今学期、HS Englishの生徒たちは、教室の外での英語の重要性について考える時間を持ちました！簡単なアンケートを実施し、生徒の意見を求めました。

1. Englishといえば、まず何を思い浮かべますか。

2. Englishを学ぶことで身につく最も重要なスキルは何ですか。

Karen Donald-Godfrey
Secondary English Teacher

読書の重要性

英語教師としてよく話題にすることですが、なぜ自主的な読書が重要なのでしょうか。

- 流暢な読解力と批判的思考力が向上し、**すべての**教科に役立つ。
- さまざまなトピックについて読むことで、世界についての**一般的な知識**と理解が深まる。最近好きだった本は「山は歌う」で、ベトナム戦争について多くを学んだ。
- **言語習得**の役に立つ：読めば読むほど、知っている単語が増えます！**目安としては、どのページにも知らない単語が2～3個はあること。**
- **根気と集中力**を高める。
- **ストレスや不安**を軽減する。

今日、LMCで本を手に取るきっかけになれば幸いです！

Isobel Duncan
Subject Area Coordinator—English

ディベート：学習に成功する秘訣！

今年、ディベートチームはセメスター1の間、シーズンに向けて精力的に活動しました。多くの山あり谷ありを経験し、KISTの輝かしい成功に結実しました！しかし、皆さんは自問しているかもしれません：何の役に立つの、と。

まず、ディベートに参加することで批判的思考力が強化されます。生徒たちは問題を多角的に分析し、論理的な議論を展開し、証拠を効果的に評価することを学びます。これにより、複雑なトピックに対する理解が深まり、身の回りの世界について批判的に考えることができるようになります。

さらに、ディベートをマスターすることで、コミュニケーション能力が高まります。生徒は、自分の考えを明確かつ説得力のある表現で述べなければならず、さまざまな文脈で自己を表現する能力が向上します。このようなコミュニケーション能力の習熟は、学業での成功に役立つだけでなく、大学、職場、日常的な交流など、将来の成功に向けた準備にもなります。また、G12で行われる重要なIOアセスメントの準備にもなります。

最後に、ディベートに参加することは能動的な学習を促します。受動的に情報を吸収するのではなく、生徒が積極的に授業に参加することで、自分の教育に対する当事者意識が芽生えます。

個人的には、学生時代に上級生として自分もディベート・チームに出場し、後輩を指導し、最終的にはMs. Kemble-Clarksonとともにチームのコーチを務めるまで、私は常にディベートを通して必要不可欠なコミュニケーション・スキルと批判的思考スキルを学び、身につけています。どうです、面白そうでしょう？来学期はディベート・クラブに挑戦してみてください！

Amy McKenzie
Secondary English Teacher

LSPドラマチックな一人芝居パーフォーマンス

LSPの英語教師は、生徒たちが学んでいるテキストに基づき、見事な一人芝居を披露するのを見守りました。生徒たちは、選ばれた登場人物になりきって台本を書き、言葉遣いや構成を工夫し、テキストの背景や重要なテーマを理解していることを示しました。LSP教師たちは、そのパフォーマンスに圧倒されました！各自小道具を持ち込んだり、登場人物を選んだりして、テキストの知識を披露してくれた生徒には特に賞賛を伝えたいです。

次のページに続く

前ページの続き

Grade 6: シェイクスピア「真夏の夜の夢」

- **Chan Kwon** (G6B)—Titania
- **Ishika** (G6A)—Hermia
- **Jingwen** (G6C)—Puck

Grade 7: ディケンズ「クリスマスキャロル」

- **Jun** (G7A)—Jacob Marley
- **Madoka** (G7B)—Scroogeの親戚
- **Suguru** (G7B)—キャラクターが幽霊を召喚するメタ・スクリプトを作成
- **Shitoku (Antony)** (G7B)—Bob Cratchit

Grade 8: シェイクスピア「ロミオとジュリエット」

- **Noah** (G8A)—Tybalt
- **Jiwoo** (G8C)—Rosaline
- **Tyler** (G8C)—Paris
- **Sarah** (G8A)—ナース
- **Mana** (G8A)—Juliet
- **Tianlin** (G8B)—Rosaline
- **Carys** (G8B)—Rosaline

口頭試問はLSPクラスで年1回実施され、生徒が難解なテキストにアクセスし、それを分析し、他の生徒を惹きつけるような方法で生き生きと表現する機会を提供します。このような評価により、生徒のスピーキングとリスニングのスキルが向上し、将来DPの口頭試験や面接で同様の評価を受けることになるため、教室の外での生活にもつながっていきます。

Olivia Kemble-Clarkson
Secondary English Teacher

KISTory 2024へのカウントダウン

2019年、伝説的なMr. Steve Otis（元KISTの英語教師）から、私のこれまでの雑誌編集者としてのキャリア経験を活かして、生徒の作品を紹介する雑誌をデザインできないかと打診がありました。同校では以前、**Marlinah**編集長（2020年卒）が中心となってKMagというクラブ誌を発行しており、生徒たちに文章を発表する機会を提供していました。KMagは廃刊となりましたが、Mr. Otisは生徒たちのイニシアチブに触発され、校内で文章を書く文化を促進するという使命を継続する決意を固めたのです。KISToryの初版は、英語とI&S の授業で書かれた作文の中から、特に優れたものを選び、編集したものでした。ページ数は28ページ。素晴らしいスタートでしたが、私たちはもっと頑張ろうと思いました。2020年はより大きく、より良いものになるはずだったのですが…

パンデミックが起きました。

そして2020年のKISToryは発行されませんでした。

私たちは心折れそうになりましたが..負けませんでした。

勢いを取り戻した2021年版は再び28ページとなり、KISTコミュニティの素晴らしい活動を紹介する機会がさらに増えました。編集長に就任したMs Duncanさんの指導とビジョンにより、2022年版のKISToryはその形を固め、より具体的な内容へと視野を広げました。2023年版は、G6～G11の全生徒が初めて投稿したものでした。その結果、選択肢に事欠かないだけでなく、この学校の驚くほど幅広い文学の才能を紹介することができました。

2024年版の編集とデザインを本格的に始めるにあたり、私たちはKISTで育まれた素晴らしい才能を改めて実感しています。文章が模範的であるだけでなく、Ms. Cho先生のご指導と励ましのおかげで、今年の表紙デザインはビジュアルアーツ部門の素晴らしい創造性を披露することになるでしょう。まさに2024年はKISTORYの新たな章となると確信しています。

Jade Bonus
Secondary English Teacher

ELSとは？

英語の先生から出された課題の一部を纏めようとしている。板書を読んで分析する必要があるのだが、それをどのように適切な言葉にすればいいのかわからない。手を挙げて助けを求めたいのに、先生は部屋の向こうで他の生徒を助けていて、どうしたらいいのかわからない・・・。

そこに突然、私が現れて、あなたの作品に目を通し、他の単語やフレーズ、手法を知っているかどうか尋ねます。そうすれば、また書き始めることができるのです。

ELSの役割はこのような英語を理解するのに手助けが必要だったり、自分の考えをどう表現したらいいのかよくわからない生徒を教室でサポートすることです。しかし、私一人しかいないため、最も必要とされ、効果的と思われる時や場所にいることができるよう、クラス間を動き回らなければなりません。時には、授業中のエッセイ執筆の際、教師が私に授業のサポートをしてほしいと希望する場合、他の教科に同席することもあります。

ELSは、英語、特にライティングに取り組む際にちょっとした後押しが必要な人のためにありますが、私がしていることの大半は、生徒が自分の考えをできるだけうまく表現できるようにするためのツールを提供することです。定義を考えるような小さなことから、What-How-Why段落の足場作りに関するアイデアのやり取り、アカデミック・ライティングの指導まで、English Language Supportは皆さんをサポートするために存在します！

Charles Owen
Secondary ELS Instructor

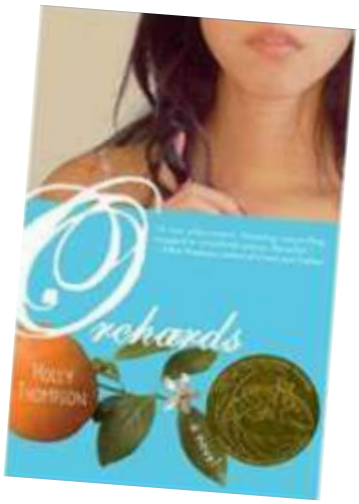
次のページに続く

前ページの続き

Holly Thompson—作家訪問

「Orchards」を読み終えた後、著者のホリー・トンプソンさんに会うという貴重な体験をしました！彼女は私たちを訪れ、この小説の創作に費やした時間について貴重な情報を与えてくれるプレゼンテーションをしてくれました。ホリーさんは、作家としてどのような方法を使ったか、どのようにリサーチしたか、どのようなテクニックを使ったかなどを話してくれました。生徒たちは全員、連鎖詩を書いたり、同義語を使って文章を書いたり、作文コンクールなどの作文活動にも参加しました！これは生徒全員にとって素晴らしい経験となりました。

Yuki (G7A)



G6 Visual Art—Unit 3: アッサンブラージュ

このユニットでは、G6はアッサンブラージュ・アート（集合アート）を探求しています。ジャンクアートとも呼ばれるアッサンブラージュは、アーティストが見つけたものや捨てられたものを再利用して、再創造された作品に変える芸術です。サステナビリティ（持続可能性）と関連のあるこのユニットは、日常生活で廃棄されてしまうものを、アートオブジェクトにアップサイクルする方法を考えるよう促すことを目的として設計されました。

日々の旅行の中で見つけた小さなアイテムを使用していた20世紀初頭のドイツ人芸術家、クルト・シュヴィッタース（Kurt Schwitter）についての授業では、生徒たちは様々な段ボール箱（KISTスタッフコミュニティのリサイクルコレクションから集められたものです！）を使用して、シュヴィッタースの「メルツ絵画」にインスピレーションを受けた独自の作品を作りました！

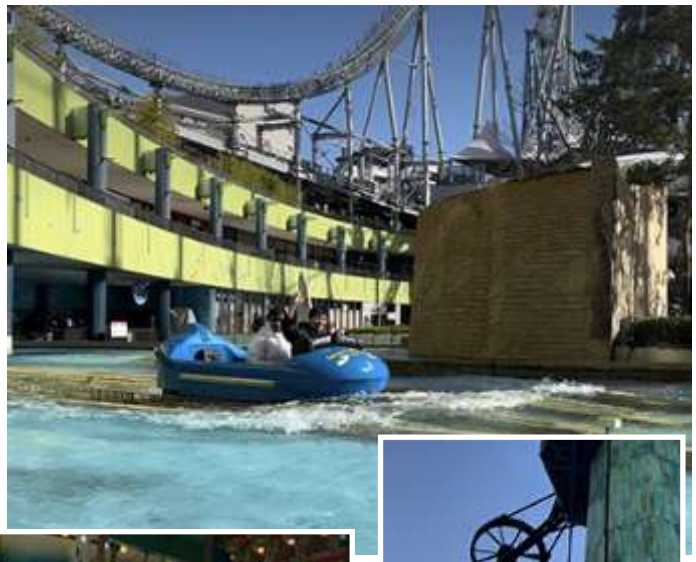
生徒たちは、様々なアプローチを取り入れながら、熱心に段ボールを切ったり、破いたり、並べたりして作品を制作していました。色に焦点を当てる生徒もいれば、テキストに焦点を当てる生徒もおり、三次元を探求する生徒もいました。みんな、自分たちの創造性を際立たせた、非常に興味深い作品を制作しました。

ユニットを続けるにつれて、生徒たちは制作に取り掛かる前に、ロザリー・ガスコイン（Rosalie Gascoine）やヴィールス（Vhils）などのアッサンブラージュ界の著名なアーティストの作品や実践を探求していきます。

Jade Bonus
G6 Visual Art Teacher

G11 DP物理の校外学習

2月の最終週、G11 DP物理クラスは**東京ドームシティ アトラクションズ**での校外学習にに没頭した。この遠足は、現在の単元に関連した実験スキルを試すために企画された、爽快なフィールドトリップであった。興奮冷めやらず、強風に見舞われ、メンテナンス中のアトラクションもある中、生徒たちは新しい物理のカリキュラムで要求される技術的スキルを行使する機会を得た。



生徒たちはスマートフォンだけを持って、ビデオを録画し、デバイスに内蔵された加速度計を使って、S2のAO2とAO3の評価基準のための調査を行い、データ処理と分析に使用できる実験データをたくさん収集した。アトラクションは広大な物理学の遊び場に変身し、ひねり、曲がり、落下するたびに、科学的探究のための貴重なデータが得られることとなった。

この没入型体験により、生徒たちは科学原理の現実世界での応用を目の当たりにすることができた。学問的な成果だけでなく、この経験は忘れがたい思い出となり、物理を学ぶことの喜びを証明するものとなったのである。

Cesar Cely
Subject Area Coordinator—Science

Trotec社への訪問

12年生のDPビジネスマネジメントクラスは、実際のビジネスの現場を理解するため、11月30日にTrotec Ltd.を訪問しました。

訪問する前に私たちがまず行ったのは、Trotec社の沿革や販売製品についての調査です。そこで私たちは、Trotec社の組織構造、予算編成、マーケティング手法や計画について学びました。その後、この情報を使用して会社のSWOT分析を作成し、その日の学びについてディスカッションをしながらピザを楽しみました。

BMの生徒たちからのコメント:

- 授業で学んだことを実際の状況に当てはめることができ、成約率など新しい計算も学べました。
- ビジネスに関する事前知識とファイナンス(リードと成約率)についての新たな知識を活用して、Trotecの事業運営を理解することができました。
- SWOT分析や予算について、今後のビジネスプロジェクトに応用するためにも、新しい観点から学べて良かったです。(ピザも良かった!)

トロテック社を訪問することで、マーケティング、ファイナンス、組織構造を考慮した企業の意思決定について理解を深めることができました。これは私たち全員にとって素晴らしい経験となり、クラスで学んだ数々の理論について、より現実的な見方をすることができました。このような訪問が今後も開催され、将来的に新しいアイデアや経験が生まれることを期待しています!

Diya (G12A)

G12 JPX見学ツアー

Grade 12の経済学コースの生徒たちは、日本取引所グループ、通称JPXへ校外学習に行き、JPXの歴史と東京証券取引所(TSE)の運営について学んできました。施設のツアー中、生徒たちは非常にためになるビデオを通じて証券取引の仕組みを学び、株価のリアルタイムの変動を見ることができました。また、株の取引方法についてのアドバイスを受けたり、上記の写真にも写っているように、証券取引所の日々のお金の流れやJPXの時価総額など、証券取引所に関する更なる情報についても巨大スクリーンで見ることができました。

見学ツアーの終盤では、株式投資体験コーナーでシミュレーションゲームに挑戦!架空の企業3社と1,000万円を含むこのシミュレーションゲームを通して、生徒たち自身が株式取引を試みる機会が与えられました。このゲームでは、23人の生徒が、10日間の取引期間内に最大の利益を得るために互いに競い合いました。市場のトレンドに基づいて的確な予測を行うだけではなく、金利の変動とその他の動きを知らせる架空のニュース記事が入るたびに、株価への影響や経済の動きを考慮する必要がありました。このゲームを通じて、生徒たちは実践的に、身をもって株式市場について学ぶことができました。ゲーム終了時には、資産順に基づいてランキングが発表され、G12Bの生徒であるHanさんが310万円以上の利益をあげて優勝!G12経済学コースの生徒にとって、この校外学習は非常に貴重で魅力的な訪問となりました。そしておそらく、次世代の株式トレーダーにインスピレーションを与えたのではないでしょうか。

Kushagra (G12B)

運動部最新情報

2023–24冬シーズン
関東JV男子・JV女子及び、ISTAA U-18男女バスケットボール

JV女子チームは、関東地区リーグで4勝3敗、そのうち1敗はASIJに3点差で、2敗はCAJとISSHに2点差と、かなりの激戦が繰り広げられたシーズンを終えました。彼女たちは全試合に出場しましたが、もっと良い結果を残すことができなかったのは残念でした。トーナメントの第1ラウンドでは不運な出来事が次々と起こり、KISTは10日前に圧倒的に勝利したばかりのSeisenチームに敗れました。その試合のあと、彼らはBSTを破りました。**ISTAA U-18女子**の試合では、KISTはLFIT相手に22–21で1敗しただけで、ほぼ無敵でした。KISTで開催されたISTAAトーナメントでは、女子チームはおそらく今シーズン最高のプレーを見せてくれて、準決勝でColumbiaを36–13で破り、LFITに対して31–22でリベンジを果たし、2015年以来初めて**ISTAAチャンピオン**となりました。

U-18女子バスケットボールチャンピオン

JV男子チームは、シーズンの幕開けから、St. Mary'sチームに圧勝された最後の試合を除いては、どの試合でも激戦と接戦を繰り広げました。1勝5敗で終了しましたが、あと数勝できなかったのは不運だったと思います（KISTが勝てる可能性があった試合で、CAJとYISにシーズン唯一の勝利を渡しました）。酌量すべき事情により、JVチームはKinnickでのトーナメントに参加できませんでした。**ISTAA U-18男子**の試合では、Aoba戦に続きHorizon戦でも何人かの選手を欠き、勝てるはずだった試合に負けてしまいました。特に、Horizonとの試合では、酷いフリースローがあり、男子チームは試合に敗れました。後のトーナメントの優勝者であるLFITにも4点差で結果的に敗れてしまいましたが、いかに僅差だったか分かると思います。昨年のISTAAチャンピオンシップで優勝しただけに、今年はU-18男子にとって悲しい結末となりました。

U-18男子バスケットボール

数年にわたり、KISTバスケットボールチームに貢献してくれた以下の12年生に心より感謝の意を表します：Haruto（G12A）、Ethan（G12A）、Anant（G12A）、Selin（G12A）、Amane（G12B）そしてMaya（G12B）、今まで本当にお疲れ様でした！ —*Mr. Ota*

U-18バスケットボール12年生

関東MS女子サッカー

MS女子サッカーチームは、メンバー全員が全力を尽くしたのものの、9位に終わるという厳しいシーズンとなりました。彼女たちは、今シーズンを通して本当に一生懸命プレーしてくれました。特にチームのスターキーパーの**Keya**（G7A）、最多得点者の**Iora**（G8B）、そして今シーズン最後のゴールを決めた、最も小柄だが最もエネルギッシュな**Aki**（G5A）をここで称えたいと思います。—***Coach Beaton***

Mr. Beaton、MS女子サッカーの運営にご尽力いただきありがとうございました！

MS女子サッカー

関東Varsity/JV男子サッカー

JV男子サッカーチームはG9からG11までの選手で構成されていて、シーズン中に他の東京の学校と8試合戦いました。チームは素晴らしい団結力と、絶対に勝つという強い気持ちを育み、新校舎建設によって施設が限られてしまっていたのにもかかわらず、毎試合レベルアップするために努力を重ねました。シーズンはJVトーナメントで最高潮に達し、KIST男子チームがBSTに対して素晴らしいパフォーマンスを見せて5–0で勝利し、トーナメント3位という素晴らしい成績を収めました。シーズンを通して関わってくれた全ての人が貴重な貢献をしてくれました。そして、これらの試合のコーチとして、選手たちの前向きな姿勢、献身、根気強さを非常に誇らしく思います。—***Coach Arnold***

次のページに続く

前ページの続き

JV男子サッカー

Varsityサッカーチームは、残念ながら良い結果には繋がらなかったですが、いくつか良いパフォーマンスを見せてくれました。長距離移動が必要な数々の試合の中で、KISTは自分たちよりも大きいチームと肩を並べようと常に努力していましたが、わずかに届きませんでした。その中でも、**Aidan**（G12B）によるハーフウェイランからのベッカムスタイルの一撃や、**Linya**（G9B）による信じられないようなソロゴールなど、チームはセンセーショナルなゴールをいくつか決めました。多くの選手に試合出場のチャンスがあったドイツの学校との試合に3–1で勝利したことは、今シーズンのハイライトです。 —***Coach Archer***

Mr. Arnold、今年度のJVチームのご指導ありがとうございました！惜しい結果がいくつかありましたね。Mr. Archer、毎年サッカーチームのサポートをしていただき本当にありがとうございます！

Varsityサッカー

関東JVレスリング

今年、KIST史上初めて関東地区レスリングに参加しました。トレーニングは厳しいものでしたが、KISTのレスラーたちは果敢に立ち向かいました。KISTは、CAJ InvitationalやJVシーズン終了ジャンボリーで見事な成績を収め、銅、銀、金を含む数多くのメダルを獲得しました。KISTのみなさん、今シーズンはお疲れ様でした！来年また、レスリングマットの上でみんなに会えるのが待ちきれません！ —***Coach Buck***

JVレスリング

関東MS・ISTAA U-14男子バスケットボール

男子バスケットボールチームは、3月上旬に開催されるISTAA U-14トーナメントを控えています。今シーズンは、MS男子チームにとって非常に厳しいシーズンとなりました。彼らの前には様々な困難が立ちはだかりましたが、みんな勇敢に立ち向かいました。MS男子Aチームは今シーズン0勝でしたが、この成績は、彼らの成長ぶりを表してはいません。チームにはG6を含む様々な学年の選手がいて、みんなKISTスピリットを見せつけてくれました。そんな彼らを、私は本当に誇らしく思います。MS男子Bチームの戦績も、彼らの成長を示すものではありません。0勝ではありましたが、全員が練習の中で自分のスキルを伸ばし、全員で力を合わせてプレーをしてくれました。CAJやSaint Maurのチームに対しても、あと一歩のところまで耐久力で追いつく場面もありました。彼らは全員本当に良いプレーをしてくれました。次のシーズンに向けて、全員がスキルを磨き続けてくれることを願っています。

今シーズンもMS男子バスケットボールを指導してくださったCoach Mahamed、そして今年Bチームを運営してくださったAssistant Coach Grantに大変感謝いたします。

MS男子バスケットボール

春シーズン関東チーム（野球、MS女子バスケットボール、MS男子バレーボール、JV女子サッカー）は2月から練習を開始しました。3月から試合が始まり、トーナメントは5月の第一土曜日に開催されます。ISTAAリーグのフットサルチームは、4月の第一週目から練習を開始します。

試合情報や結果はこちらをご覧ください。
Schoology >> Groups >> Resources

Dennis Ota
Athletics Coordinator

KIST電車内安全キャンペーン

ここ数週間、学校全体で、自分自身と周りの人たちの安全を守る方法について学んできました。痴漢・盗撮行為は、若者が電車の中で直面する大きな問題であり、アドバイザリーの授業で、これらの犯罪行為を見抜く方法を学びました。なじみのない方のために説明しますと、「痴漢」とは、同意も無しに直接に人の体に触れる行為のことで、「盗撮」は違法に他人の写真を撮る行為のことです。痴漢行為のほとんどが電車内や駅での犯行ですが、盗撮に関しては電車、街中、お店でも警戒しなくてはなりません。2023年には、盗撮を抑止するため、撮影罪が新設されました。

痴漢・盗撮から身を守るための防犯対策を学ぶだけではなく、私たちはバッジデザインキャンペーンを開始しました。このバッジは、バッジ製造会社に発注され、ブレザーやカバンにつけられるように全校生徒に配られます。

バッジを見せることには2つの意味があります。一つ目の理由は、KISTの生徒が痴漢や盗撮などの犯罪行為に関して学んだことを示し、自身が安全に通学する権利を主張するためであり、二つ目の理由は、生徒が痴漢・盗撮行為を一切容認しない姿勢を見せ、学校も同じ価値観であることを、都内を移動する際に示すためです。

バッジのデザインが選ばれた**Jash**（G9B）と**Aimi**（G7B）、おめでとうございます（本ページに掲載）。2つのデザインのバッジが、全校生徒にランダムに配られる予定です。応募していただいた生徒の皆様、ありがとうございました。

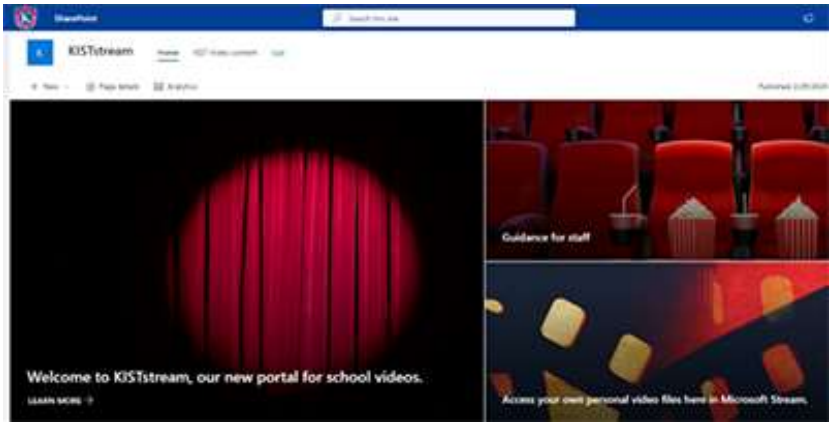
そして、KISTファミリーに向けた短いプレゼンテーションも用意しました。プレゼンテーションはMr. Archerによって録音され、G10Aの**Satori**、**Mamiko**、**Reika**が日本語版を担当しました。プロフェッショナルな仕事をしてくれた3人には、心から感謝しています。このプレゼンテーションビデオは、E-Communicationsでお送りしますので是非ご覧になってください。

KISTコミュニティーが一丸となり、現在そして未来の生徒たちを危険から守りましょう。

Matthew Archer
Student Care Coordinator (Secondary)

KISTstreamの紹介

学校のビデオコンテンツの新しいロケーション



Microsoft Streamビデオサービスの変更により、学校は**KISTstream**と呼ばれる新しいSharePointサイトを作成しました。KISTstreamは、以前のMicrosoft Streamポータルに代わるもので、KISTコミュニティが、お知らせや卒業生フォーラム、コンサートなどの重要な学校のビデオコンテンツにアクセスして楽しむための、新しい中心的な場所になります。

KISTstreamは、以下のWebアドレスからアクセスできます（このリンクをブックマークに追加してください）：

Web https://kisted.sharepoint.com/sites/StreamPortal

学校コミュニティは、**Schoology**の**KISTv**グループのリソースセクションに行き、古い学校のビデオコンテンツのカタログにアクセスすることもできます。

Web https://kisted.schoology.com/group/5891518227/

この変更についてご質問やご不明点がある場合、ITサポート（**it.support@kist.ed.jp**）までお問合せください。

IT Support Team

クラブ活動のハイライト

彫刻クラブ（エレメンタリー）

自分の手で何かを作り出すことには、とても不思議な魅力があります。そして、長い時間をかけ、頑張って作った作品を手に取るとき、何とも言えない達成感を感じることができます。この感覚を持つ生徒たちは、今年の彫刻クラブに参加し、創造力と芸術的なスキルを活かして、自分で作れるなんて思ってもみなかった作品を数々作り出しました。

クラブの部員たちは、普段の授業では使用できないポリマークレイを使用します。このタイプの粘土は、最初は扱いにくいかもしれませんが、一旦慣れてしまえば、とても素晴らしい材料です。生徒たちは、彫刻を作る際に、切ったり、スライスしたり、突いたり、滑らかにしたり、形を整えたり、組み立てたりすることができるプロ仕様の彫刻ツールも使用します。彫刻が乾燥したら、アクリル絵の具で色を塗り、仕上げに透明なニスを塗ります。生徒たちは、小さなフィギュアからキーホルダーといったものまで、いくつかの素晴らしい作品を作り上げており、一部の生徒はバッグに付けたりもしました。

彫刻クラブには、Grade 3とGrade 4が混ざった14人のメンバーが在籍しており、その中には前学期からの継続メンバーもいます。彫刻制作は、創作意欲のある人なら誰でも楽しめる、楽しくてやりがいのある活動です。

Julian Dave
Club Supervisor

音楽クラブ（エレメンタリー/セカンダリー）

バンド

スクールバンドは、色々なポップやロックソングを演奏することに興味のある、G6からG11の生徒を歓迎します。セメスター2では、4月に横浜で開催される小規模の音楽フェスに出演したり、6月に行われる学校の学年末コンサートで演奏する予定です。

ミュージカル

演技、歌、踊り—ミュージカルクラブのメンバーはセメスター1で『オズの魔法使い』の音楽を学び、セメスター2では、他のミュージカルからの有名曲も取り入れ、パフォーマンスの幅を広げています。

オーケストラ

スクールオーケストラは、G4からG11の生徒で構成されていて、この一年間、人気映画音楽の編曲されたものを学んできました。学校のイベントで演奏するだけではなく、数名の部員は学校を代表しKPASSミュージックフェスティバルでも演奏しました。

合唱

エレメンタリー（G4–G5）とセカンダリーの生徒は、ハーモニーを奏でて歌うことを合唱クラブで楽しく学んでいました。興味のある生徒は全員参加できるクラブで、地域の合唱フェスや学校イベントで披露できることを楽しみに週に一回集まって練習を行っています。

スタッフ10!

今月のスタッフ10!では、2020年8月にセカンダリースクールの数学教師として加入した **Yuqi Zhao** をご紹介します。Ms. Zhaoは、今年度のG10Bのホームルームアドバイザーを務めています。

1) 出身地について面白いことを教えてください。
私は北京出身で、かつて多くの皇帝が暮らしていたとよく言われる場所ですが、まさにその通りです。北京の観光スポットの半分は、かつて歴代皇帝が暮らしていたか、頻繁に訪れた場所（紫禁城、頤和園、天壇など）と関係があると思います。私の子供時代の大切な思い出の一つは、両親と一緒にこれらの世界遺産を頻繁に訪れたことです。

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？
テカポ湖—そこでの星空観察の経験は決して忘れられません。夜空に広がる幾千幾万もの星が、掴めそうなほど近くに感じられました。初めてみる星座もいくつかありました。夜空を守るために、携帯電話を使用しないように言われました。現実を離れ、大自然を心から満喫できたことは本当に忘れられません。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。
会って話したい人が特に思いつきません。家族や友人に時々会えるだけでありがたく思っています。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？
残念ながら、自分が知る限りこれと言った特別なスキルや才能を持っていないと思います。でも、完璧

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。
私は子供の頃、数年間体操の練習に通っていました。恐れることなく、とても熱心にあらゆる動きに挑戦していました。そんな私の姿を見て、いつかとんでもない大怪我をするのではないかと心配した両親は、私を普通の学校に戻すことに決めました。数年間練習したのにもかかわらず、今ではスプリットすらできないです！

6) あなたにとって一番の宝物は？
私は思い出を集めるのが好きなので、ニュージーランド時代に収集したいろいろなモノが入っている「クッキータイム」の箱（ニュージーランドのクッキーブランド）が、いまのところ私の1番の宝物です。手紙、プレゼント、写真、そして昔住んでいたアパートの鍵まで入っています。

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。
もともと内省的な性格なので、**'Reflective'**（深く考え反省できる人）だと思います。私が学生だった頃は、自分の学習を常に振り返ることが効果的な戦略でした。トピック間の繋がりを理解するのにも役立ちましたし、自分の間違いを振り返ることは試験の成績向上に大きく貢献しました。大人になった今、振り返りをすることで、自分自身の長所と短所をよりよく理解できるようになりました。また、自己受容の手段としても役立っています。

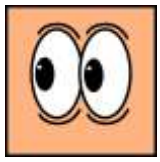
8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？
学生時代、チームスポーツにもっと参加したかったですね。でも当時は学業に集中しなければならなかったので、あまりその機会がなかったです。体育の授業で友達とスポーツするのは本当に楽しかったです。チームワーク、粘り強さ、ポジティブな考えを維持することもそこで学びました。

9) 自分を高めるために今やっていることは？
多分、何人かの教え子と同じ回答になるかと思いますが、ストレスマネジメントです。いろいろなことが重なると、内心とても緊張してストレスを感じてしまう傾向があります。

10) ファンに一言お願いします。
誰が何を経験していて、どんな思いをしているかなんて決してわかりません。だからこそ、いつも優しくしてください。

岐阜県白川郷にて、「住人」と出会うMs. Zhao

保健便り



子どもの目の健康を守る

子どもの視力低下は生活環境の変化とともに年々増加しており、裸眼視力1.0以下の生徒は高校生の7割近く、中学生で6割程度、小学生でも3割以上該当します。近視の進行を抑えて大切な子どものたちの目を守っていきましょう。

将来、近視になるリスクが高まる要因:

- 親が近視である。(遺伝的な要因だけでなく環境も影響する)
- 目を本に近づけるなど至近距離で読む(30 cm以内)
- 睡眠時間が短い
- 就寝時間が遅い
- ゲームやスマートフォンを1時間以上続けて使用している
- 外遊びをあまりしない

日常生活でお子さんが見えにくそうにしている。ものの見方に気になることがあれば一度眼科を受診し、視力検査を受けてみましょう。眼科で検査を受け、必要に応じてその子どもに合った視力矯正が必要となります(近視、遠視、乱視を含む)。

一部の眼科では近視の進行をおさえる以下のような治療が行われています。

- **オルソケラトロジー**: 特殊なハードコンタクトレンズを夜寝る前につけ、朝にはずします。就寝中に角膜の形を変化させることで、視力を矯正します。
- **点眼薬**: 眼軸長(眼の奥行)の伸長を抑制する点眼薬などがあります。医師の処方が必要です。
- **多焦点コンタクトレンズ**: レンズの中心部から周辺にかけて、度数が変化しているコンタクトレンズです。
- **累進屈折型メガネ**: ひとつのレンズで、位置によって度数を変化させているメガネです。

成長期の子どもの目の状態は変化しやすいので一度視力検査で問題が無かったからと安心せず、定期的に眼科で検査を受けましょう。

近視予防、これ以上症状の進行を防ぐためにできること:

- **外遊びを通して日光を浴びる**:
  可能であれば一日2時間以上屋外で活動をしましょう。屋外での活動時間が長いほど近視リスクが低下し、親が近視であっても子どもの屋外活動時間が確保できると近視リスクが低下すると報告されています。
- **近くを見る作業を長く続けない**:
  近くを見る作業を長く続けていると目に負担がかかり、近視リスクを高める:目を休ませるためにも20–30分に1回程度窓を開けて遠くを眺めるなど5分程度目の休憩が大切です。
- **明るい環境で見る**:
  暗い部屋で寝ながらの読書、スマートフォンなどモニターを見るのは目への負担が大きいです。
- **定期的に眼科で検査を受ける**:
  8歳ぐらいから近視が発症しやすく、近年では低年齢化も進み6歳未満の子どもでも近視になることがあります。遺伝や生活環境にもよります。
- **眼精疲労に注意する**:
  近くで見る作業を長時間続けていると、目が疲れるだけでなく、近視が進行しやすくなります。長時間のテレビ観覧、スマートフォンの使用を避けて適度に目を休ませましょう。
- **目の健康を守るのによい食材を積極的に摂取する**:
  ＊ カロテノイドの一種の**クロセチン**が近視の進行抑制に効果があるとされています。例:サフラン、くちなしの実(サフランライス、栗きんとん、たくあんなど)
  ＊ カロテノイドの一種の**ルテイン**には目を守る働きがあり、体内では作ることができません。例:ブロッコリー、ほうれん草、モロヘイヤ、卵黄など。
  ＊ **ビタミンA**は目の健康を保つ脂溶性ビタミンです。例:かぼちゃ、ニンジン、鰻、レバーなど。

後日、保護者のご協力を得て数日間にわたって生徒の眼科検診を実施することを検討しております。この計画が実行に移される場合は、適切な時期にお知らせいたします。

Yukiko Yamazaki
School Nurse

参考資料:
Children's Eye Health Development Guidebook for Educational Institutions: Rohto pharmaceutical company.
Retrieved from https://jp.rohto.com/learn-more/eyecare/all/myopia/menokenkou/

KIST保護者会（CA）ニュース

図書委員会

2023年12月15日、ホリデーベーくセールを開催しました。今回は初めてESCRと協力して行われ、無料のポップコーンも配られました。学校コミュニティからの多大な寄附によって、イベントを実現することができました。ご協力ありがとうございました。

1月に新しい校舎が開校された際、図書ボランティアはLMCの整理のお手伝いをしました。

イベント委員会

2023年12月15日金曜日、MPRにてホリデーリースイベントをかいさいしょました。このリース作りイベントを通して植林連合をサポートする事ができました。

15組の親子が参加して下さり、とても楽しく美しいリースを作りました。セカンダリーの生徒によるサービスグループがSDGsに関する簡単なプレゼンテーションを行い、素晴らしい時間となりました。

餅作りイベントの前日には、ボランティアによる米洗いや調理器具の洗浄等が行われました。

サービス委員会

サービスおよびCAS説明会（英語・日本語）が2月9日と16日にサービス委員会によって開催されました。CASおよびサービス活動は、DP/IGCSE/LSPの一部として生徒が完了しなければならない要素の一つです。保護者がCASをより深く理解できるように、プログラム担当教員である若狭先生をお招きし、CASの内容について説明して頂きました。52名の保護者が参加して下さいました。

Join us!

ご協力ありがとうございます!

大学ガイダンスニュース

KIST大学ガイダンス最新情報！

新校舎が完成したおかげで、大学進学ガイダンスがどのように機能するのか、また今後どのようなことが期待されるのか、いくつか最新情報が入ってきました。大学出願がより効率的（家族の時間と費用を節約）になり、また、より多くの生徒が第一志望に合格できるよう、ここでの取り組みを改善し続けたいと思います。

新しいオフィスの場所

私たちの多くはKIST内のそれぞれの場所に落ち着きましたが、より便利で皆さんがアクセスしやすくするために、大学ガイダンスオフィスはホールを挟んで4階の反対側に移動します。場所は建物の北側にあるケアオフィスの隣になります。**419室を通り過ぎ、左側3つ目のドアです。**ぜひお立ち寄りください！

世界地図

最近、4階のコルクボードに世界地図が貼られました。これは過去3年間のKIST卒業生の最終選択・進学先を示しています。これには2つの大きなメリットがあります。

- まず、卒業後の進学先に**様々なロケーション**が可能であることを学生に知ってもらいたいということです。地図上の大学の95%が英語でのプログラムを提供しています。フランスでも、オランダでも、韓国でも、香港でも、好きなことを好きな言語で学ぶことができます。もちろん、進学先で新たな言語を学ぶことも大いにお勧めします。
- 第二に、これは過去3年間のみを示しているため、「今」何が可能かという現実的な視点を与えてくれるだけでなく、生徒や家族が質問した場合の連絡先があるということでもあります。地図上で興味のある場所があれば、卒業生に連絡を取り、話を聞いてみることもできます。

願書数の制限

最初は大きな変化に感じるかもしれませんが、KIST内の大学出願ポリシーに小さな変更が加わります。私がここでカウンセラーをして以来、生徒が出願できる数に制限を設けたことはありません。しかし、私ができる最善の方法で生徒をサポートし続けるために、2024–25年度からは変更する予定です。

なぜ変更するのか？

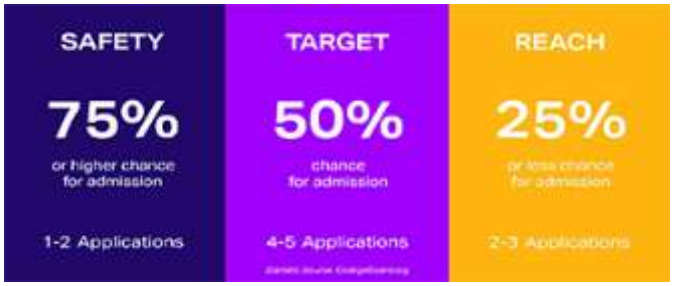
ここではっきりお伝えしたいのは、この変更はリソース不足や、私の仕事量を減らしたいからではないということです。**主な問題は効率と費用**です。生徒たちは、家族や同級生から、より多くの進学先に出願するようプレッシャーを感じるようになっています。IBディプロマ・プログラムの期間中、時間は貴重です。学生は模試を受け、大学入学試験の準備をし、小論文を書き、面接を受け、課外活動と並行して社会生活を維持しようとします。**決して入学することのない大学に出願することは無駄でしかありません。**方向性のない出願や、「能力を誇示する」 ためだけの出願に費やす時間は、もっと目的を持った出願に使える時間を奪ってしまいます。

これによる生徒への利点は？

学生は1つの大学にしか進学できません。私たち全員が同じ考えを持ち、より焦点を絞った目標を持てば、出願の質は高まるでしょう。過去2年間、卒業生の90%以上が「第一志望」として挙げた大学に進学しており、これは追跡調査すべき最も重要な指標だと私は考えています。過去の卒業生たちの平均出願数は10以下です。**集中して出願することで、時間が大幅に短縮され、ストレスも軽減されます。**

願書上限は？

正確な数字はまだ決まっていませんが、ある程度柔軟性を持たせる予定です。私が一番避けたいのは、機会を奪うことだからです。出願数の多さに伴うプレッシャーで、授業を休んだり、睡眠不足になったり、過度のストレスを感じたりする生徒が減る傾向にしたいと思っています。下の画像は推奨する出願に関する案内です。「安全・滑り止め」「目標・本命」「挑戦」のそれぞれの学校が生徒にとってどのような意味を持つのか、生徒と一緒に考えていきたいと思います。



次のページに続く

前ページの続き

家族ができることは？

- 上記の情報を真摯に受け止め、質問があれば私に連絡してください。
- 生徒が本当に行きたいところを絞り込み、賢い計画を立てるのを助ける。生徒には安全な選択肢を1つか2つだけ用意し、他はしっかりと目標や夢のある学校にすること。
- 生徒が決して通うことのない大学への出願を強要しないこと。大学受験に成功したことを誇りに思うのはいいことだが、「エゴ」や「目立ちたい」という理由だけで受験するのは、有益というよりも有害である。

SATテストセンター受入数の増加

新しい校舎のおかげで、KISTでSATを受験できる生徒の数が50%近く増えました。当校の生徒は好きなセンターでSATを受験することができますが、これによってKISTが繁忙期に予約しやすいオプションになることを願っています（予約はカレッジボードのウェブサイトから行います）。

いつSATを受験するか、その理由は？

SATは、ほとんどの場合、米国への出願を希望する学生にのみ推奨されています。COVID期間中、ほとんどの大学では選択制でしたが、徐々に必須となりつつあります。KISTの全生徒はG9でPSAT 8-9を、G10でPSAT 10を受験します。アメリカへの進学を考えている生徒には、G11が始まる8月に初めて本番のSATを受けることをお勧めします。そうすることで、G10とG11の間の夏の間に準備する時間ができます。

メイ大学（の担当者）がKISTを訪問！

今学期より定期的な大学からの訪問受け入れを再開することになりました。大学の学校訪問は、4階のMPR（MPR4）で昼食時に行われるのが既定です。これにより、学生は大学のプレゼンテ ーションを聞きながら昼食をとることができます。時間が許せば、保護者の方にもご参加いただけます。今後のスケジュールは以下の通りです。また、毎週末に今後の訪問をお知らせするするメールをお送りします。

- **March 6 – University of Toronto**
- **March 14 – University of Cambridge**
- **April 10 – Purdue University**

Times Higher Education（THE）認定

最後に、Times Higher Educationを通じて、本校が**THE Accredited Counselling School**に認定されたことをお知らせします。これは、本校の進学カウンセリング・チームと学校のリソースが、大学出願とキャリア・サポートを提供するのに十分であることを評価するために、一連の講義、試験、そして査読付きの提案小論文を必要とするものでした。このことが、KIST生のご家族にとって、更なる安心材料となることを願っています。私たちが生徒に期待しているように、私たちのスタッフもまた、教育、カウンセリング、アドバイスのベストプラクティスについて常に教育を受けていることを確認するために忙しい日々を送っています。

Thomas Waterfall
University Counselor
thomas.waterfall@kist.ed.jp
Office hours: Monday–Friday, 8:00 a.m.–5:00 p.m.
University Guidance Office (4F Main Building)

Math Field Day

皆様に嬉しいニュースをお届けいたします。先日、座間ハイスクールで開催されたマスフィールドデーにて、当校の生徒たちが素晴らしい成績を収めました。このイベントには関東地区のインターナショナルスクール12校から約260名の生徒が参加し、当校からはGrade 6からGrade 11まで27名の生徒が参加しました。

その中で、KISTの生徒は突出したパフォーマンスを発揮し、素晴らしい成績を収めたことを誇りに思います。全参加校の中で、KISTは表彰台に上った生徒数が最も多く、合計7名でした。次いで、St. Mary's International Schoolが6名、Seisen International SchoolとSaint Maur International Schoolがそれぞれ3名でした。(なお、Grade 12は12校中6校のみ参加しており、KISTは参加していないため、リストから除外しています)他校の表彰台に上がった生徒の平均の人数がわずか1.5人であることを考えても、本校生徒の快挙は称賛に値します。

個人コンテストで表彰台に立った以下の生徒の皆さん、おめでとうございます。

- **Satori** (G10A): Grade 10部門　1位
- **Wing Hei (Jeremy)** (G9A): Grade 9部門　1位
- **Mamiko** (G10A): Grade 10部門　2位
- **Tongxi (Len)** (G9A): Grade 9部門　2位
- **Teppei** (G8C): Grade 8部門　2位
- **Zongtai (Anthony)** (G7A): Grade 7部門　2位
- **Naoya** (G6B): Grade 6部門　3位

さらに、KISTの27名の生徒のうち、20名(74%)がトップ10にランクインしたこともお知らせします。その中には、わずか1点差で表彰台を逃した以下の生徒が含まれます:

- **Fumie** (G11A)
- **Ota** (G8B)
- **Rintaro** (G8B)
- **Natsuki** (G7B)

また、他校の生徒とチームを組んで行うテック・チャレンジとエナジャイザー・ラウンドでは、本校の生徒が他校の生徒と効果的にコミュニケーションを取る能力を発揮し、中にはリーダーシップを発揮しグループを仕切る生徒もいました。KISTからは以下の生徒が参加したチームが上位3位を獲得しました。

- テックチャレンジ(シニア部門) **Fumie** (G11A)
- エナジャイザーラウンド(ジュニア部門) **Yifeng (Max)** (G6A) と **Tyler** (G8C)

そして、他校の先生から、表彰式で本校生徒の名前が呼ばれるたびに嬉しそうにしているKISTの上級生を見て、とても感動したと聞きました。このイベントを通して、本校の生徒たちは数学の優秀さだけではなく、他の生徒と協力する能力や学校としての団結力も示してくれました。

この素晴らしい結果は、生徒たちの献身と努力、そして教師陣の指導とサポートの賜物です。この快挙を祝い、そして、

今後のKISTの生徒たちの様々なエリアでの活躍を期待したいと思います。

Nanami Sakuma
Subject Area Coordinator—Mathematics